

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

・・見方を変えれば・・

雨の季節がはじまりました。

洗濯物が乾かなく親は、悩みの多い季節ですが、カエルやカタツムリは、大喜び。勿論、花や木も嬉しそうですね。そんな姿に心躍らす子ども達を見ていると、幸せになります。

新年度がはじまり2ヶ月たったこの頃

4歳児の子ども達の中に幼稚園に行くのを嫌がる姿が見られる事があります。入園したばかりの子ども達が我慢していて、緊張が取れ「やっぱりお家がいい」という姿とは、少し違った姿です。園に来てしまえば、楽しく子ども同士で遊ぶ姿が見られ、特に原因が分からない姿です。

こうした子どもの心は、お友達の関係が深まり、今まで見えなかったお友達の心を自分の心に取り入れて物事を考える力が育っていく姿です。今まで気にならなかったお友達の言葉や行動が気になり心が不安になる姿です。その様子は、一見するとマイナスの様に見えますが、子どもの心から見ると成長しているプラスの姿と捉えることができます。

雨が続いて「イヤだなあー」「憂鬱だなー」という心も見方を変えると楽しいことに変化するものです。たくさんの汚れ物も「いっぱいあそんで来たんだね」と考えると違ってきませんか？そして、時間があれば、子どもと一緒に傘さして長靴はいてお散歩に行ってみませんか？いつも見慣れた景色は変わり、たくさんの出会いと子ども達の楽しい歓声や笑顔を見つけ、気持がさわやかになること請け合いです。そして、子ども達は、大好きな大人と一緒に幸せな気持ちになれるでしょう！

(おか)

あおぞらの保育9・・保育を創る大人達

あおぞらの保育は「自分を大事にする心」と「自分とは違った他者を大事にする心」を育て人間らしく生きる力を育てる事です。

この保育を創る力は、あおぞらの保育実践研究から誤解を恐れず言えば、免許を持っていると言う法律的事実より、子どもを取り巻く全ての人間関係の質が保育の質を創るといっても、過言ではありません。

あおぞらは、職種・年齢・経験を超え、人間関係の中心にあるのが「子どもの幸せ（子どもの最善の利益）」であると言う確固たる理念を共有している事が、大人集団の特徴です。

そして、色々あるけど「自分らしく、楽しく生きること」「違っていることを楽しむ心」を持っている事です。言い換えると「出来る／出来ない」「正しい／正しくない」より「楽しく・豊かに・なかまと生きる楽しさ」を大事にしている集団であると言えます。勿論他の子育て支援・発達障害支援事業も、中心になる法人の理事会集団も同じです。

自己責任や自己表現力が厳しく問われる時代。「楽しさ／豊かさ」などあいまいさをイメージ出来ない大人が増えています。あおぞらの保育創造は、こうした大人集団があつてこそ、生まれる実践です。

あおぞらだより

分かっているけど…大事な心だね

朝、たいようさんと一緒にいたら泣き声があるので、泣き声のする方を見ると、仰向けにひっくり返って「ぎゃーぎゃー」と言いながら手足をばたばたさせて泣いているAくん。

「どうしたの」と、Aくんに聞いたけれどAくんは、泣き続けて何にもいってくれません。すると、そばにいたBくんが状況を話してくれました。

Aくんは、Cくんに踏まれて「いやだった」と言ったら、Cくんは、わざとやった訳でないけどあやまってくれたこと。そしてCくんは、行ってしまった事を話してくれました。それでも、踏まれたAくんは、まだ手足をばたばた、床をキックして泣き続けています。

そして、Aくんの傍にいて、とぼっちを受けけて当たってしまったDちゃんは「お口で言って」といっています。

それでも泣き続けるAくん。

お口で言っても、分かっているけど子どもは、「ばたばたしないと気がすまない時もあるよね。」

そんな時、大人はどうするのでしょうか？

「もういいかげんにしなさい」「Cくんが誤っているでしょう？」・・・と色々あるけれど、子どもには、分かっているけど出来ないこともあるんですね。

しばらくして、Aくんは、気を取り直して遊びはじめました。

「お口で言って」といえるDちゃんの姿から・・・あおぞらで、心が育っているなあと思う一時でした。そして、それとともに、言葉に出してもすっきりしない思いも色々あること。そんなたくさん経験をしている子ども達。

豊かになる心が育つ子どもの一コマでした。

[イク]

まほろばの部屋から

<停電の夜には>

この度の震災で被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

地震の影響はいろいろな形で感じました。

私たちの暮らすまちでは「輪番停電」があり、停電にあわせて生活する日々がしばらく続きました。

この「停電」が3歳の息子にはたいへん「恐怖」だったようです。突然「真っ暗」になることに、見たことがないくらい怯えていました。

保育園の帰り道。停電になることはわかっていたので、せめて帰り着いてから停電になってほしいと願いながら先を急いでいました。息子にも「停電になる」ことは予告済みでした。

でも、途中で寄った店の中で、急に電気が切れました。

外に出ると、外灯も信号もついていませんでした。でも、思ったほど「真っ暗」ではありませんでした。

見上げてみると、満月でした。「暗いよ」とつぶやく息子に月を見るように言い、「お月様って明るいわね」「お月様がついてくるから歩いていても平気だね」と会話をしました。

いつもなら怖い停電の夜も、今夜は「つきよのさんぽ」になりました。 (あきこ)

わとと・あおぞら

きょうもにぎやかですーあたらしい出会いも！

こんにちは～あれっ？なんとなく広くなりましたね。

雰囲気かわりましたね。

たたみもきれいになって、ハイハイしやすそう。

先月はじめに室内をリニューアルしたわとと。

ハイハイやあんよのあかちゃんがママからはなれ、

たたみ敷きの室内を、おもちゃの所までたんけんへと。

ふりむけば、すぐにママを確認できるから安心、うれしいの笑顔です。

4月より利用料が無料になり、毎日お茶しにこようかな～

お昼寝起きて、午後すこしだけあそびに来ました、というママも。

お子さんの生活リズムにあわせてあそびに来てください。

(かよみ)

友達と見る絵本



くもりのちはれ せんたくかあちゃん / 福音館書店 さとうわきこ作・絵

雨が降ったり、台風が来たりで、梅雨入りとなりましたが、こんな季節にピッタリの絵本です。

どんよりとした 曇り空。なかなか せんたくものが乾かないお空だけど、かあちゃんはいいいことを 思いつきます。

それは、おそらに 大風を揚げて、雲よりも上に 洗濯物を干す作戦！

園でも、川や泥んこであそんだ服や靴が、せんたくかあちゃんのように ぐしぐしあらわれて 園庭に たくさん並んで 干されているよ。

「せんたくかあちゃんみたいだね～」と、たるの中でごしごし洗っているよ。

この本を見ると子どもたちも笑いだす、くもりぞらでも楽しい気持ちになる、そんなお話ですよ。

(あづさ)

～6月より島田市で開講します～

「子どもたちが、その子らしく生きていけるように・・・

ありのままの自分でいられるように・・・」と願って

* ^あまんま有る・・・その子がもともと持っているもの・・・性格、個性、特性などそのまんまを認め、その子の得意なところを生かしてさらに可能性を伸ばしたい。

* ^あまんま在る・・・その子がその子らしく存在していただけるということを大切にしたい。

寺子屋 まんまある

「寺子屋 まんまある」は、小学生は算数、中学生は数学と英語を中心にした学習を支援するとともに、集中しにくい・落ち着きがない・自分の世界に入りやすい・コミュニケーションが苦手など、気になる点も合わせて支援していく教室です。

～発達支援事業まほろば～